



伯耆国「大山開山1300年祭」 「山を守る聖地」大山

昭和50年ごろ、大山山頂では、増加する登山者により山肌が荒れ、緑が急激に失われていきました。そんな中、昭和60年に地域団体などにより「大山の頂上を保護する会」が結成され、「一木一石運動」が始まりました。これは、登山者に一人ひとつずつ山頂まで石を運んでもらうことにより、山頂付近の山肌保護に役立てようという活動で、植物の苗植えや木道整備の取り組みとあわせ、大山山頂の緑の復元に役立ってきました。

この後も頂上トイレの浄化槽にたまった汚泥を登山者が担ぎ下ろす「キャリアダウン・ボランティア」が生まれるなど、大山は山を守る活動の聖地であるといえます。今年8月10日、11日に、山を守る活動の聖地・大山で第3回「山の日」記念全国大会in鳥取が開催されます。この機会に、私たちが山から受けている恩恵、そして、そうした恩恵をもたらす山の大切さ、山を守る活動の意義について、見つめなおしてみませんか。



やわらかな光に包まれる大山の大献灯

<関連イベントの一部を紹介します>

特別展示「大山山麓の至宝」～「大山」ゆかりの刀を中心に～ 平安時代の伯耆国の刀匠である「安綱」在銘の太刀3振りに加えて、安綱作の可能性のある春日大社蔵の日本最古級の「古伯耆」も里帰り展示。大山山麓の刀剣文化を背景とした大山ゆかりの名刀の数々や大山の重宝を展示。 **開催期間** / 7月29日(日)～8月26日(日) **開催場所** / 米子市美術館

伯耆国「大山開山1300年祭」記念式典 1300年に及ぶ大山の歴史の素晴らしさ、かけがえのなさを再確認し、新たな気持ちで地域の歴史に向き合い、次の100年に生かしていくことを誓います。 **開催日** / 8月9日(木) **開催場所** / 米子市公会堂

大山の大献灯 和傘や絵とうろうを使った幻想的な献灯イベント。大山夏の風物詩で、例年のお盆の時期に加え、今年は和傘灯りの期間を10日間に拡大して行われます。

開催期間 / 8月24日(金)～26日(日)、9月22日(土)～24日(月・祝)ほか **開催場所** / 大山寺参道周辺

問合せ：伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会【鳥取県西部総合事務所 地域振興局 西部観光商工課 大山振興室内】
電話：0859-31-9371 公式ホームページ：http://www.daisen1300.org/

皆さんは大原安綱つてご存知ですか。はじめて刀に反りを入れ銘を入れた、日本刀の始祖といわれる人です。

「日本刀鑑定必携」(町図書館蔵)は、「日本刀の実質の祖である安綱がなぜに伯耆のよいうな辺鄙なところに居住していたのか―それは同地方が有名な鉄の産地であったからに他ならない」と書いています。

平安時代にたたらは完成し、伯耆の砂鉄は良質なので鋼(刃金)を作ることができました。鋼は焼き入れをする

と堅くなり、切れ味鋭く長持ちします。そこで今までまっすぐだった剣に焼き入れをし、強い刃と反りを持たせて日本



菅福小学校の跡地近くに、山際に石段がありその上に大原神社と花の御前の祠が残っています。今でもきちん草刈りもなされていて、平安のころから地元の人はこちらを守つてこられたのです。

室町時代に書かれた太平記には「伯耆国会見郡の大原安綱」と書かれていて、坂上田村麻呂の太刀も作つたと書かれています。太刀の

鑑定から安綱は980年ごろの人だというのが定説となっています。

かれています。

文 = 伯耆国たたら顕彰会 副会長 佐々木幸人

第2回 緊急企画

「伯耆安綱の伝説」

たたらマイスターが、あなたを奥目野たたらの世界に引き込みます。



刀に仕上げたのが安綱です。私は上菅の駅前「大原」と書かれた地名看板を見てびっくりしました。もしやあの大原安綱の里かと思つたのであります。でもって調べてみるとやはり郷土誌「高宮の郷」には、上菅駅近くの田んぼのあたりに御城や屋敷があり、安綱という鍛冶が抱えられていたと書

なぜこのように出身地の話が混乱するのでしょうか。刀鍛冶は秘伝が多く情報が隠されたこと、千年も前の話であること、安綱一門には20人を越える鍛冶がいたと考えられることなどが挙げられます。

実際にこの人たちの作つた太刀として多くの国宝や重要な文化財の太刀が残っています。なかでも日本刀で最初に国宝になつた刀剣界の王者、銘安綱の「童子切」は今年の年末年始に東京国立博物館で特別公開が決まりました。

米子市美術館では7月29日(8月26日に銘安綱三振り)と古伯耆刀二振りが展示されます。春日大社で発見された刀も里帰りますし、日野町からのたたら関連遺物も多く展示されますので必見です。



つよくする。
このまちを、
あなたが、

平成 30 年度日野町職員採用資格試験

新メンバー

募集

住所要件なし・全国公募開始

申込期限

2018年8月16日(木)17時00分まで

※町ホームページから「先輩職員からのメッセージ」がご覧になれます。

《試験日時》9月16日(日)

《試験会場》日吉津村内 ※時刻および試験会場は受験票交付時にお知らせします。

《募集職種・人数》一般事務:4人、保健師・保育士:若干名(採用予定年月日:平成31年4月1日)

※申込締切:7月20日(金)から8月16日(木)午後5時まで

【受験資格】

- ▼一般事務:昭和58年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた人
- ▼保健師:昭和58年4月2日以降に生まれた人で、保健師の資格を有するか、平成31年3月31日までに取得見込のある人
- ▼保育士:昭和58年4月2日以降に生まれた人で、保育士の資格を有するか、平成31年3月31日までに取得見込のある人

【第一次試験】

- ▼一般事務:教養試験、事務適性検査、性格診断検査、作文試験
- ▼保健師・保育士:専門試験、事務適性検査、性格診断検査、作文試験

【申込み】

受験申込用紙に必要事項を記入し、8月16日(木)午後5時までに西部町村会事務局に提出してください。なお、同日までに到着するよう郵送されても差し支えありません。

申込用紙は7月20日(金)から、役場総務課または西部町村会事務局で配布します。

【第一次試験合格発表】

10月中旬、合格者に通知を送るほか、役場前掲示板に掲示するとともに町ウェブサイトに掲載します。

【第二次試験】

10月下旬に行います。内容は個別面接による口述試験

【申込みおよび問合せ先】

鳥取県西部町村会 〒683-0054 米子市糀町1丁目160 西部総合事務所新館2階
電話 0859-22-2049



詳しくは、
募集要項を
ご覧ください。